

■ まちづくりのうごき

藤沢北口駅前地区整備事業について

平成 17 年度に実施した「藤沢北口駅前地区まちづくり検討会（全5回）」で議論した結果を平成 18 年 3 月に『藤沢北口駅前地区整備計画』としてとりまとめました。この整備計画を基に、藤沢市では、関係各者と協議・調整を進め、藤沢北口駅前地区整備事業として道路整備を進めています。

■ 地区の将来像

- 藤沢の中心市街地にふさわしい活力あるまち並み形成
- 防災機能が高く安全で安心して暮らせる魅力的なまち
- 新たな商業、文化、交流等の時代要請に貢献するまち

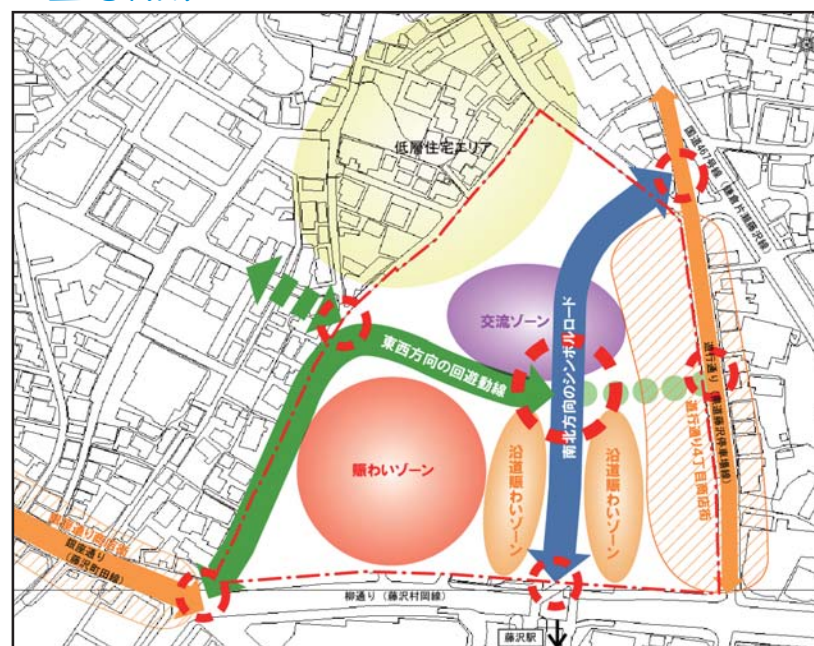
■ 地区の開発戦略の進め方

- 藤沢駅北口地域のトリガーとなり得る計画的なまちづくり
- 広域的な核施設の集積により地域の拠点性や競争力を高める
- 北口地域の回遊性向上を図り、まちの活力を高める

■ 賑わいゾーンの事業化に向けて

- 民間活力を活かしたまちづくりの推進
 - ・ 民間による複合商業施設の事業化により、早期事業完了を目指す
 - ・ 再開発等促進区を定める地区計画や総合設計制度等の導入を検討

■ 土地利用ゾーニング



■ 交流・沿道賑わいゾーンの事業化に向けて

- 道路と沿道の一体的な整備を推進
 - ・ 交付金を活用した道路の早期整備を目指す
 - ・ 沿道の土地の交換分合や敷地の整序等による合理的な高度利用の促進を目指す（土地区画整理事業による沿道整備を想定）

平成 19 年度～ 道路整備に着手

- 平成 19 年度より、都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）を活用し、地区内の南北・東西の道路（藤沢駅北口通り線、藤沢駅北口東西線）の整備に着手しました。
- 道路整備に合わせ、電線共同溝の整備にも着手しています。

事業期間が延伸

- 平成 21 年 9 月、複合商業施設の事業計画を進めていた民間事業者が、事業継続困難となり、施設計画が白紙となりました。
- これらの影響により、藤沢北口駅前地区整備事業の道路を平成 26 年度末の開通を目指します。

■ 現在のまちづくりの状況

藤沢市では、道路等の整備を進めています。

また、先般、賑わいゾーンにおける新たな事業者が決定し、民間活力を活かしたまちづくりが本格的に動き出しました。

■ 複合商業施設

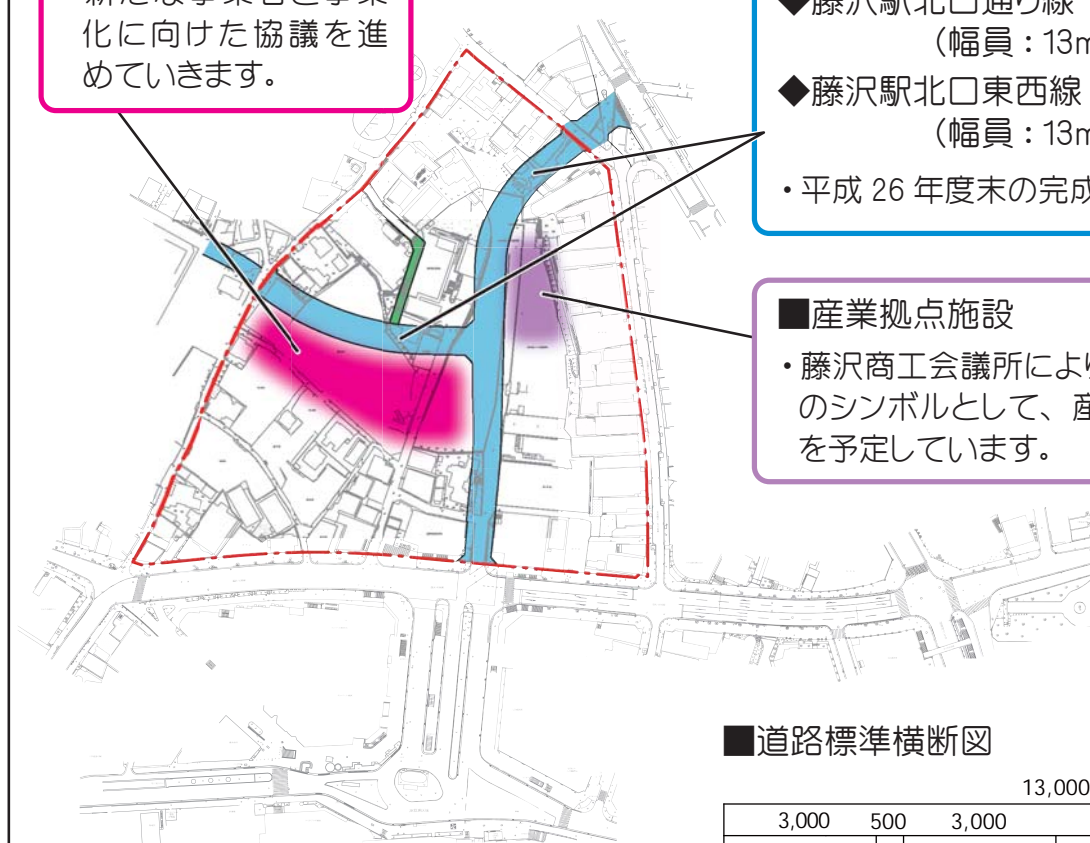
- ・ 新たな事業者と事業化に向けた協議を進めていきます。

■ 道路事業

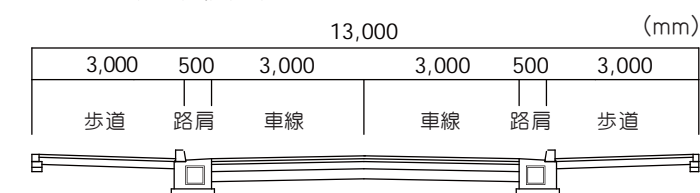
- ◆ 藤沢駅北口通り線
（幅員：13m 延長：約 240m）
- ◆ 藤沢駅北口東西線
（幅員：13m 延長：約 100m）
- ・ 平成 26 年度末の完成を目指しています。

■ 産業拠点施設

- ・ 藤沢商工会議所により、藤沢市産業振興のシンボルとして、産業拠点施設の整備を予定しています。



■ 道路標準横断面図



■ 道路整備イメージ

